


ぶどうの里なんようワイン特区

都道府県名：	山形県	
申請主体名：	南陽市	
区域の範囲：	南陽市の全域	
特区の概要：	<p>南陽市は、約３００年のぶどう栽培の歴史があり、生食用ぶどうの産地として知られている。また、明治半ばよりワインの醸造も始まり、山形県内 12 社中 4 社のワイナリーがありぶどうによる産業が盛んな地域である。</p> <p>しかしながら、農業者の高齢化や後継者不足の深刻化等により耕作放棄地が増加しており、特例措置の活用により、小規模施設での酒類の製造、販売を可能とし、新規就農者がワイン製造に参入することで、生食用ぶどうより労働力が軽減される醸造用ぶどうの生産が拡大することで、耕作放棄地の解消と地域活性化を図る。</p>	
適用される規制の特例措置：	特産酒類の製造事業	



南陽産ワインのＰＲのため毎年開催している「ワインフェスティバル IN 南陽」



よりおいしいぶどうを収穫するためのぶどうの剪定作業